

6.11 映画上映会&シンポジウム

日独 裁判官物語

上原景観裁判と 司法のあり方を考える



～「上原基金1万人の会」中間報告をかねて～

当日プログラム

- 第一部 映画『日独裁判官物語』(片桐直樹監督、1999年 約60分)上映
第二部 上原景観裁判とは何か ～上原ファンド1万人の会の中間報告を含めて

日 時：2017年6月11日(日) 13:00～15:30(予定)

場 所：一橋大学西キャンパス 本館21番教室

資料代：1,000円

主 催：(社)くにたち上原景観基金1万人の会
くにたち大学通り景観市民の会

連絡先：080(3396)1491(上原基金事務局)

【開催趣旨】第一部では、日本とドイツの裁判官の違いを浮き彫りにしつつ、日本の裁判官のあり方について問題提起するドキュメンタリー映画を観ます。そのことで、市民に開かれた、市民のための裁判所や司法のあり方とは何かを考えてみましょう。

第二部では、昨2016年12月13日、最高裁判所が決定を下した国立上原景観訴訟について、その経過と結果の意味するところを、発言者に語っていただきます。また、その後展開されている「上原基金1万人運動」のねらいと現状について報告し、会場の皆さんからもたっぷりご発言いただきたいと思ひます。どなたでもご参加いただけます(申込不要)。

発言者：上原公子(元国立市長)／井戸謙一(元裁判官)／田中隆(弁護士)

報告：窪田之喜(弁護士)



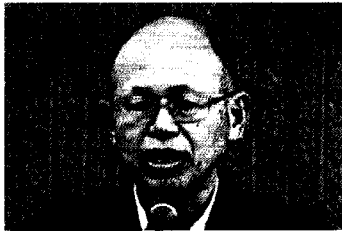
(左)高級車で登庁する日本の裁判官、(中)バイクで通勤するドイツの裁判官、(右)裁判所構内は撮影禁止(映画『日独裁判官物語』より)

発言者プロフィール



上原公子さん

1949年、宮崎県生まれ。法政大学大学院修士課程中退。東京・生活者ネットワーク代表。東京都国立市議会議員を経て、1999年5月国立市長に当選。2期8年市長を務める。現在、脱原発を求める首長会議・事務局長。



井戸謙一さん

1954年、大阪府生まれ。元金沢地方裁判所裁判長。2006年、北陸電力志賀原発差し止め判決をくださった。32年間裁判官を務め、2011年に退官後は弁護士として原発訴訟に取り組み、2016年、大津地裁で高浜原発差し止め裁判に勝訴。



田中隆さん

1951年、滋賀県生まれ。弁護士として市民・労働者の権利擁護にたずさわるかたわら、平和・民主主義・憲法を守る活動に関与。自由法曹団元幹事長。有事法制・国民保護法反対で国立の運動と共同。国立市景観訴訟弁護団。



窪田之喜さん

1945年、静岡県富士市生まれ。解雇・不当労働行為など労働事件、七生養護学校事件などの教育裁判や、檜原村住民訴訟など多くの社会的事件を手がける弁護士。国立市景観訴訟では弁護団の責任者を務めた。

HP — <http://www.ueharafund.org/>

Email — daigakudori@gmail.com

FB — 上原ファンド1万人の会 @ueharafund